

2026年度 一般選抜 (英語・数学・国語)

受験学科等	試験教科 (2教科試験)	試験時間
日本語学科 英米語学科 中国語学科 ホスピタリティ・ツーリズム学科 (観光専攻, GMM)	英語 (リスニングを含む。)・国語	135分
経済学科 不動産学科 ホスピタリティ・ツーリズム学科 (経営情報専攻)	英語 (リスニングを含む。) <必須> 選択教科 (国語・数学から1教科選択)	

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 試験問題は42ページあります。
- 3 試験中に問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 4 監督者の指示に従って、必ず解答用紙2枚すべての所定欄に氏名、フリガナ、受験番号、生年月日を記入し、マークしてください。また、選択教科の解答用紙は解答する教科をマークしてください。
- 5 上の表に従い2教科を解答してください。
- 6 受験番号、教科が正しくマークされていない場合、採点できないことがあります。
- 7 解答は、解答用紙の解答欄にマークしてください。例えば 20 と表示のある解答箇所に対して3と解答する場合は、次の(例)のように解答番号20の解答欄の3をマークしてください。

(例)

解答番号	解 答 欄
20	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 - * </div>

- 8 試験時間の最後の15分間で、音響設備を使って「リスニング」のテストを行います。解答番号は41番～50番です。
- 9 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 10 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってはいけません。

2026年度 一般選抜 (国語)

受 験 学 科	試 験 教 科 (2 教 科 試 験)	試 験 時 間
口 腔 保 健 学 科	国語 (必 須) 選 択 教 科 (生 物 ・ 数 学 か ら 1 教 科 選 択) ※ 選 択 教 科 は 別 冊 子	120分

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 試験問題は21ページあります。
- 3 試験中に問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 4 監督者の指示に従って、必ず解答用紙2枚すべての所定欄に氏名、フリガナ、受験番号、生年月日を記入し、マークしてください。また、選択教科の解答用紙は解答する教科をマークしてください。
- 5 上の表に従い2教科を解答してください。
- 6 受験番号、教科が正しくマークされていない場合、採点できないことがあります。
- 7 解答は、解答用紙の解答欄にマークしてください。例えば 20 と表示のある解答箇所に対して3と解答する場合は、次の(例)のように解答番号20の解答欄の3をマークしてください。

(例)

解 答 番 号	解 答 欄
20	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 - * </div>

- 8 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってはいけません。

国

語

第一問

次の文章に関する問い（問一～問三）に答え、後の漢字語句の問題（問四～問六）に答えよ。（配点50）

問題文については、著作権の関係から掲載いたしません。

問題文については、著作権の関係から掲載いたしません。

問一 傍線部1 それぞれの競技の特徴 とあるが、これについての筆者の考えをまとめたものとして最も適当なものを、次の①

～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 1。

- ① それぞれの競技のファンに支持されてきた歴史がある。
- ② 競技を主催する協会の意向が色濃く反映されている。
- ③ あまりにも多種多様であり、統一するのは困難だ。
- ④ 競技の特性や歴史的背景が反映されていて興味深い。
- ⑤ 今後は各競技の事情を考慮しながら標準化を図るべきだ。

問二 空欄

2

にあてはまる語句として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 2。

- ① インセンティブ
- ② コンセンサス
- ③ ユニバーサル
- ④ ピクトグラム
- ⑤ シンボリズム

問三 本文の内容について述べたものとしてふさわしくないものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 3。

- ① 陸上や競泳では以前は日本語で合図が行われていたが、選手の要望なども踏まえて世界標準の合図に変更された。
- ② 柔道の合図はさまざまな言語が使われていた時代もあったが、日本語の「はじめ」に統一されて受け入れられた。
- ③ 大相撲では、他の多くのスポーツとは異なり、競技を始める瞬間を示す合図は現在でも行われていない。
- ④ デフスポーツではスタートの合図を公平に伝えるためにスタートランプなどの器具の開発が進められている。
- ⑤ デフリンピックの開催に向けて、観光協会が宿泊施設等での英語表記を推進するなどの対応を呼びかけている。

※問四以降は本文と関係のない漢字・語句の問題です。

問四 次のa～dの傍線部と同じ漢字を含むものを、各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は 4 ～ 7。

- a エイビンな感覚とユーモアのセンス。
b ゲンチを取られないように気を付けて話す。
c 神棚にお餅をそなえる。
d いちいち気にさわることを言う。

a
エイビン

4

- ① 顧客の要望をプレゼンにハンエイさせる。
② 現状を打開するためにエイダンを下す。
③ 対立候補のジンエイを切り崩す。
④ エイセイ観念に乏しい時代。
⑤ 業績改善のためにエイイ努力する。

b
ゲンチ

5

- ① 微妙な匙カゲンが必要だ。
② ゲンコウ不一致で信頼を損なう。
③ イゲンも名誉も失われた。
④ タゲンのに捉える必要がある。
⑤ 実態を知ってゲンメツした。

c
そなえる

6

- ① キヨウジュンの意を表明する。
② 参加者に食事をテイキョウする。
③ 自然の恵みをキョウジュする。
④ しきりにキョウシユクしている。
⑤ キョウケンが発動される。

d
さわる

7

- ① ショウガイブツ競走に出場する。
② 雑誌論文をショウロクする。
③ しばらくカンシヨウに浸る。
④ 予算セツシヨウが難航する。
⑤ ジキシヨウソウと判断した。

問五 次の空欄 a ～ d にあてはまる語句として最も適当なものを、それぞれあとの①～⑧のうちから一つずつ選べ。同じ記号を二

度用いてはならない。解答番号は ～ 。

d	c	b	a
親は <input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	坦懐に語り合える友。	貫徹で目標を達成した。	浮薄な言動を改める。
一貫して反対していた。			
<input type="text" value="11"/>	<input type="text" value="10"/>	<input type="text" value="9"/>	<input type="text" value="8"/>

- ① 初心
- ② 終始
- ③ 大言
- ④ 異心
- ⑤ 首尾
- ⑥ 初志
- ⑦ 軽佻
- ⑧ 虚心

第二問

次の文章を読んで、後の問い(問一～問十)に答えよ。(配点50)

問題文については、著作権の関係から掲載いたしません。

問題文については、著作権の関係から掲載いたしません。

問題文については、著作権の関係から掲載いたしません。

問題文については、著作権の関係から掲載いたしません。

問題文については、著作権の関係から掲載いたしません。

問一

空欄

a

e

いてはならない。解答番号は a が 16、b が 17、c が 18、d が 19、e が 20。
に入る語句として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つずつ選べ。同じ記号を二度用

① 代償

② 複利

③ 観点

④ 頻度

⑤ 頻繁

問二 傍線部 I 表に示したように とあるが、次の表は本文に示された表である。表の中の A～E に当てはまる点数として最も

適当なものを、それぞれの後の①～⑤のうちから一つずつ選べ。同じ記号を二度用いてはならない。解答番号は A が 21、B が 22、C が 23、D が 24、E が 25。

	集中 グループ	低妨害 グループ	高妨害 グループ
記述式 テスト	16 点	A	B
選択式 テスト	C	D	E

⑤	④	③	②	①
53 点	66 点	10 点	8 点	59 点

問三

空欄

ア

イ

エ

に入る語として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つずつ選べ。同じ記号を二度用い

てはならない。解答番号はアが 26、イが 27、ウが 28、エが 29。

① ところが

② また

③ さて

④ つまり

⑤ このように

問四

傍線部2

実際はそうではありません

とあるが、実際はどうなのか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のう

ちから一つ選べ。解答番号は 30。

① 最初の課題を中断して別の課題に取り組んでいるのに、どうしても新しい課題の方に集中することができなくて困ってしまう。

② スマホのチェックをしているだけで勉強の効率が著しく下がってしまい、ワーキングメモリ内の情報がすっかり消えてしまう。

③ 同時に二つ以上の作業をするわけではないから作業効率が落ちるはずがないと思っているが、実際は効率が落ちている。

④ 最初の課題を中断して別の課題をやっているはずなのに、実は元の課題と並行して作業をしているのと同じことになっている。

⑤ 同時に二つ以上の課題を抱えているとどうしても集中力が続かず、課題の作業効率が低下して学習効果も低下してしまう。

問五 傍線部3 この問題を明らかにするために とあるが、「この問題」の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は **31**。

- ① 同時にマルチタスクをすると作業効率が下がるのかどうかという問題。
- ② タスクを中断することによって作業効率が下がるかどうかという問題。
- ③ マルチタスクが人の行動にどのような影響を与えるだろうかという問題。
- ④ パソコンやスマホの画面が人の行動に影響を与えるかどうかという問題。
- ⑤ タスクの内容がシンプルであっても作業効率が下がるかどうかという問題。

問六 傍線部4 いったいなせこのようなことが起こるのでしょうか とあるが、それに対する答えとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は **32**。

- ① 二つの課題を同時にこなそうとすると、どうしても集中力が散漫になって効率よく進めることが出来ないから。
- ② 課題が中断されることによってワーキングメモリから情報が削除され、作業が円滑に進まなくなってしまうから。
- ③ 短時間で二つの課題を行ったり来たりすることによって、安定して課題に取り組むことが出来なくなるから。
- ④ 一つの課題が中断されるとその課題を完成させたいという欲求が次の新しい課題への取り組みを妨げるから。
- ⑤ 二つの課題を抱えることによってワーキングメモリがいっぱいになって、新しい情報を取り込めなくなるから。

問七 傍線部5 さほど面白くはない十二種類の課題 とあるが、なぜ面白くない課題を与えるのか。文脈から想定される理由と

して最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 33。

- ① 中断する前の課題が面白い課題だと、中断後の次の課題への移行が困難になってしまうから。
- ② 課題を完成させたいという欲求の原因が課題の面白さにあるという可能性を否定するため。
- ③ 面白くない課題である方が、中断した後、元の課題を完成させたいという欲求が強くなるから。
- ④ 心理学の実験では面白くない課題を与える方が純粹な結果を得ることが出来るとされているから。
- ⑤ 面白くない課題を提示することで、課題への取り組みに対するストレスを被験者に与えるため。

問八 傍線部6 ツアイガルニク効果 とあるが、オヴシアンキーナ効果とツアイガルニク効果の違いについての説明として最も

適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 34。

- ① オヴシアンキーナ効果は「未完了の課題のほうが人の記憶に残りやすい」という事実を示したが、ツアイガルニク効果はその原理が「未完了課題のほうが完成させたいという強い欲求を持ちやすいからだ」と結論づけた。
- ② オヴシアンキーナ効果は「未完了の課題のほうが完成させたい欲求をかき立てる」という傾向を示したが、ツアイガルニク効果は「未完了課題のほうが強い欲求を持ちやすいからだ」という根拠を数値で示した。
- ③ オヴシアンキーナ効果は「未完了の課題を完成させたいという欲求が多くの人にある」という現象を示したが、ツアイガルニク効果はその現象に「未完了の課題のほうが記憶に残るからだ」という解釈を与えた。
- ④ オヴシアンキーナ効果は「実験途中の自由時間の行動観察」に基づいて導き出されたが、ツアイガルニク効果は「課題中断後の記憶の数値化」という手法によって、オヴシアンキーナ効果と同じ結論を導き出した。
- ⑤ オヴシアンキーナ効果は「中断された課題は多くの人の興味関心をひく」という傾向があることを示したのに対して、ツアイガルニク効果は「中断後の記憶を診断する」というユニークな手法に基づいて導き出された。

問九 傍線部7 私自身もこのツアイガルニク効果と類似した実験をおこなったとあるが、筆者の実験とツアイガルニクの実験

の違いについての説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 35。

- ① ツアイガルニクの実験では課題解決が強制的に中断されたのに対し、筆者の実験では「問題が難しくて解けなかった」という形で課題の中断が生じた。
- ② ツアイガルニクの実験では課題解決の中断が生じた人も生じなかったのに対し、筆者の実験では全員が同じように中断されるように工夫された。
- ③ ツアイガルニクの実験では課題解決の欲求の解明に記憶テストが導入されたが、筆者の実験もそれと同じ手法にアナグラムの要素を取り入れた。
- ④ ツアイガルニクの実験はオヴシアンキーナ効果の原因究明をするためのものであったが、筆者の実験はその反証を与えるための実験であった。
- ⑤ ツアイガルニクの実験は課題の中断と記憶との関係を明らかにする実験であったが、筆者の実験は中断された課題への欲求の深さを検証しようとした。

問十 本文で述べている内容と一致するものとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 36。

- ① 情報機器の常時接続社会の到来は私たちの生活を便利にしたが、情報機器に依存する傾向が学力低下や仕事の効率低下を招いており、歯止めをかけるために世界中で研究が進められている。
- ② マルチタスクとは同時に二つ以上の課題を並行して行うことを指し、一つの課題を中断してからもう一つの別の課題に移るような場合についてはマルチタスクとはみなされていない。
- ③ 仕事や勉強の合間にメールをチェックしたりSNSに目を通したりすることで、知らず知らずのうちに多大な時間を費やしているという問題が深刻化しており、大きな社会問題になっている。
- ④ マルチタスクが仕事の効率に与える影響についてはツァイガルニクらを含めて多くの研究がなされているが、なぜ効率が下がるのかという謎を解明する研究成果は認められていない。
- ⑤ マルチタスクで仕事の効率が下がるのは、未完了課題が記憶に残るといった傾向と深い関係があるが、これは「一方的にふられた」場合の失恋が忘れにくいということとも関係がありそうだ。